

各 位

会社名 株式会社フィル・カンパニー
 代表者名 代表取締役社長 能美 裕一
 (コード番号：3267 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役経営管理部長 西村 洋介
 (TEL：03-5275-1701)

当社事業の進捗状況に関する速報

平成 30 年 11 月期（当連結会計年度：平成 29 年 12 月 1 日から平成 30 年 11 月 30 日まで）における当社事業の進捗状況をお知らせいたします。

昨今、一部報道機関において、金融機関が投資用アパート向け融資に対して慎重な姿勢に転じているという報道がなされておりますが、当社が展開する駐車場（コインパーキング）の上部「未利用」空間を主に商業施設として活用する空中店舗フィル・パーク事業は、土地を保有していない方に対して土地建物全体に融資が行われる投資用アパート等と異なり、既に土地を保有している方に対して一つ一つの土地に合わせた“最適解”を迫る、継続性を備えた高投資利回り商品を提供しているため、報道による当社事業の展開に関する懸念は少ないと考えております。

寧ろ、当社事業においては、駐車場、特にコインパーキングは狭小地や変形地に存在しているものも多く「駐車場（コインパーキング）＋商業施設」というオンリーワン商品であることだけでなく、“小型商業施設”という点が従来の“小型住居系”に代わる土地活用方法の選択肢の一つとして期待を集め始めております。また、当社事業は大通りから一本、二本入った路地裏を中心とした立地に灯りと賑わいをもたらす、そういった立地に「初期テナント誘致保証」も付帯した付加価値の高いサービスを提供することも特長であり、最近では駐車場（コインパーキング）を運営されている土地オーナーだけではなく、多種多様な顧客からの相談が増えている状況にもあります。例えば、需給バランスの観点から住宅一辺倒の資産運用に悩みを抱えている顧客からのリスクヘッジをしたいとの相談、一部の用地は仕入れているものの数十年かけて一帯の用地仕入を行った後に大型の開発を行うことを目指す商業・マンションデベロッパー（開発会社）からの相談など、当社にとって追い風が吹き始めております。

その結果、当連結会計年度（平成 29 年 12 月 1 日から平成 30 年 11 月 30 日まで）において、当社事業の重要業績評価指標である受注高及び受注残高並びに開発 PJ 総額見込について、同期比で過去最高額を更新しました。また、当第 4 四半期連結会計期間（平成 30 年 9 月 1 日から平成 30 年 11 月 30 日まで）において、受注高 1,579,378 千円を記録し、第 4 四半期に限定しない各連結会計期間（3 ヶ月）の受注高としても過去最高額を大幅に更新しました（従来の最高受注高は 936,348 千円）。

なお、財務数値やその他の指標につきましては、平成 31 年 1 月 11 日に予定している決算短信にて公表いたします。

1. 「請負受注スキーム」の速報 (単位：千円)

	受注高※ 1
平成 30 年 11 月期	4,060,581
平成 29 年 11 月期	2,434,857

(単位：千円)

	受注残高※ 2
平成 30 年 11 月期 期末時点	2,793,195
平成 29 年 11 月期 期末時点	1,539,041

※ 1 受注高とは、上記連結累計期間における空中店舗フィル・パーク事業「請負受注スキーム」（内装工事等の追加工事の受注を含む）の新規受注金額の合計（売価ベース）となります。

※ 2 受注残高とは、上記時点における空中店舗フィル・パーク事業「請負受注スキーム」（内装工事等の追加工事の受注を含む）の竣工引渡前の受注金額の残高合計（将来の売上見込金額）となります。

2. 「開発販売スキーム」の速報 (単位：千円)

	開発プロジェクト総額見込※ 3
平成 30 年 11 月期 期末時点	1,770,309
平成 29 年 11 月期 期末時点	1,056,266

※ 3 開発プロジェクト総額見込とは、「開発販売スキーム」において用地取得契約後プロジェクトを開始した空中店舗フィル・パークの、上記時点における土地及び建物の完成見込額の合計（将来の売上原価見込額）となります。